

---

## 10/1 レポート

テキスト 197～198 頁の要旨とともに、198 頁掲載の「奈良県ため池条例事件」の「事実の概要」を 400 字程度でまとめて提出ください。

奈良県は日本全国において、ため池の決かい被害が相次いだことから、昭和二十九年九月に**ため池の保全に関する条例**を定め、ため池の破損、決かいの原因となる行為および提とうに農作物を植えることを等を禁止した。この条例の対象である奈良県の a 池において、被告人は、本件条例により提とうでの耕作が禁止されているのを知りながら、茶、芋類、大豆、野菜などの農作物を植え罰金刑に問われた。しかし、被告人は、本件条例は既存の権利を無償で剥奪し、憲法二十九条一項・三項に違反し向こうであると主張した。